

第16回建設業経理士検定試験 1級原価計算

〔第1問〕 解答にあたっては、それぞれ200字以内（句読点を含む）で記入すること。

問1

原価管理の要請から、原価をその発生源の観点から分類する基準によって、経営能力費であるキャパシティ・コストと業務活動費であるアクティビティ・コストに分類される。キャパシティ・コストは、現実の企業経営活動を実践するために保持されるキャパシティ（製造・販売能力）の準備および維持のために発生する原価であり、アクティビティ・コストは、製造や販売の活動が実行される際に、その活動と付随して発生する原価である。

問2

期間予算編成に期待される機能として、未来行動の計画予測機能、組織および行動の調整機能、動機づけコントロール機能がある。計画予測機能とは、企業経営上、将来の目標を掲げ、その目標を達成する方法をあらかじめ決定することである。調整機能とは、部門間のギャップを調整し、各部門の活動を企業全体の共通の目標へ向けてバランスをとることである。そして動機づけコントロール機能とは、やる気を起こさせる役割のことである。

〔第2問〕

記号（AまたはB）

1	2	3	4	5
A	B	B	A	A

〔第3問〕

問1 ¥ 400,000

問2 ¥ 48,716 記号（AまたはB） A

〔第4問〕

問1 ¥ 4,000,000

問2 ¥ 2,000,000 記号（AまたはB） B

問3 ¥ 500,000 記号（同 上） B

第16回建設業経理士検定試験 1級原価計算

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書	
自 平成×2年7月1日	
至 平成×2年7月31日	
大分建設工業株式会社	
(単位：円)	
I 材料費	1,082,935
II 労務費	902,120
(うち労務外注費	417,140)
III 外注費	308,690
IV 経費	426,580
(うち人件費	198,560)
完成工事原価	2,720,325

問2

¥ 477,645

問3

¥ 2,720,545

問4

① 材料消費価格差異	¥ 3,750	記号 (AまたはB)	A
② 労務費賃率差異	¥ 655	記号 (同 上)	B
③ 重機械部門費配賦差異	¥ 2,100	記号 (同 上)	A